

# もばらの議会だより

第111号  
平成24年2月15日

発行 茂原市議会報編集委員会

〒297-8511 茂原市道表1番地

電話 0475-20-1585

FAX 0475-20-1611

http://www.city.mobara.chiba.jp/

## 一般会計補正予算など12議案 並びに発議案1件を可決

平成23年第4回定例会は、11月30日から12月15日までの会期16日間で開かれました。

この定例会では、市長から平成23年度茂原市一般会計補正予算を初めとした予算関係4議案並びに人権擁護委員の推薦につき意見を求める議案など計12件の議案が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。また、議員発議として茂原市議会議員定数条例の一部を改正する条例案が提出され、原案のとおり可決されました。

### 一般質問

12月定例会における一般質問は、12月7日、8日、9日の3日間にわたり11名の議員により行われました。

#### 市長の政治姿勢と

今後について

森川 雅之 議員  
(もばら21)

**問** 田中市長が市長選挙で挙げた市政マニフェストの達成状況について、どのような評価を下しており、今後の市政にどう活かしていくご所存であるのか。又、来年4月に迫った市長改選に向け、2期目の出馬への決意と方針を伺う。

**答** マニフェストについては7

政策19項目の完全実施に向けて最善の努力をしてきた。特に行財政改革の徹底を第一の柱として債務の計画的縮減などを中心に、ひめはるの里や給食公社の民間委託、出先公共施設管理の一部民間委託、広域行政では温水センターの民間委託、長生病院の長期借入金借り換えによる公債費の縮減、夜間救急二次待機病院における空白日の解消などを行った。企業誘致にも注力し、沢井製菓の新工場建設やパナソニック液晶ディスプレイ茂原工場休止後のジャパンディスプレイを誘致することができた。限られた財源の中、マニフェストで掲げた項目については選択と集中により概ね達成できたと考えているが、まだまだ問題が山積していると感じており、引き続き行政の舵取り役として

2期目の続投を決意した。今後もスピード感を持ち、地域経済の安定的な維持と安全安心なまちづくりに取り組んでいきたい。

#### その他の質問事項

- ・土地開発公社について
- ・TPPと農業について
- ・幼保一元化について
- ・公立幼稚園について
- ・妊婦検診と飛び込み出産について
- ・総合学習について

#### 土地開発公社について

初谷 智津枝 議員  
(平成クラブ)

**問** 公社債務が巨額となるに至った土地取得経緯の調査及び説明責任を果たす必要があると考えるがいかがか。又、公社は三セク債の活用により清算し解散するのが得策と考えるが、鍵となる償還期間はどの位を前提に国・県と交渉に臨むのか。

**答** 土地開発公社の債務が巨額となった経緯についてはバブル崩壊以降の景気低迷が主な原因であると認識し、その調査を行ってきたが、問題点について様々な角度から開示していきたいと考えている。今後は土地開発公社経営検討委員会からの提言を受け、第三セクター等改革推進債の活用を含めた今後のあり方について国・県との協議を進め、方針を決定していきたい。三セク債の償還期間について

は原則10年であるが、本市の厳しい財政状況の中でこの期間での償還は困難であるため、これを上回る要望をしていきたい。

#### その他の質問事項

- ・市長の政治姿勢について
- ・観光行政について
- ・地域福祉について
- ・天然ガス発電について
- ・女性政策について
- ・道路整備と信号機設置について

#### 市を挙げての圏央道

開通イベントについて  
前田 正志 議員  
(もばら21)

**問** 圏央道の開通に際しては市役所のみならず各学校や諸団体を挙げて開通を祝うイベント、とりわけ市民や子どもたちが供用区間を歩けるようなイベントを開催すべきと考えるがいかがか。

**答** 圏央道は平成24年度中の供用開始を目標に工事が進められており、開通日については供用開始の約6ヶ月前に決定することである。平成19年3月の木更津東IC〜木更津JCT間開通の際には沿線市町村で開通記念イベント実行委員会を立ち上げ、開通日1週間前にウォークラリーや各種アトラクションの実施、開通日当日には式典が行われた。本市として長年念願であった圏央道の開通となるので